

令和3年度 学校評価アンケート（分析結果）

生徒対象の質問は「あなたは・・・」、保護者対象の質問は「お子様は・・・」、教職員対象の質問は「生徒は・・・」で表記している。

I 基礎学力の向上

1（1）先生方は教え方を工夫していると思いますか。

・生徒・保護者・教職員ともに、9割以上が「はい」と回答しました。

『ICT機器を活用し、きめ細やかな学習指導の充実を図ることで、質の高い授業を提供することができていると考えられます。』

2（1）1年間の授業時数は、十分に確保できていると思いますか。

・全体（生徒・保護者・教職員）の平均で約8割が「はい」と回答しました。

『新型コロナウイルス感染症による休校の影響で、生徒は授業時数が十分に確保できていないと感じているようですが、教職員は、行事等を精選することにより、可能な限り授業時数を確保できたと考えています。』

3（1）「必履修科目」「履修」「修得」といった言葉を理解していますか。

・生徒の約9割、保護者の約8割、教職員の約7割が「はい」と回答しました。

『生徒や保護者は、言葉の意味を理解していると考えているようです。しかし、教職員にとっては、本当に理解しているかどうか不安に感じる場面が見られるようです。』

4（1）基礎学力は上昇したと思いますか。

・全体（生徒・保護者・教職員）の平均で約8割が「はい」と回答しました。全体としては、5.8ポイント上昇しました。

『生徒や保護者の8割以上は基礎学力が上昇していると感じているようです。しかし、一般社会に必要な学力を基準と考えると、教職員はまだまだと感じているようです。』

4（2）家庭学習を行っていますか。

・生徒・保護者の平均で約4割、教職員の約8割が「はい」と回答しました。

『教職員は、週末課題や休校中の課題を工夫して課し、家庭学習を行うように指導していますが、家庭学習をしている生徒は半数にも満たない状況です。今後も引き続き、家庭学習の定着のため努力をしていきますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思います。』

5（1）入学してから読書のために図書室を利用したことがありますか。

・全体（生徒・保護者・教職員）の平均で約半数が「はい」と回答しました。

『新入生に対して、図書館の利用の仕方を説明するオリエンテーションを実施していますが、約半数の生徒しか利用していません。今後は、授業での図書館の利用を促進していきます。』

総合所見

ICT機器を活用したわかる授業の展開を工夫し、基礎学力の定着を図るように教職員は努めています。生徒の大部分も、教え方が工夫されていると感じているようです。一方で、家庭学習の時間が確保できていない生徒がおり、家庭学習の定着のためのより一層の努力が必要です。

Ⅱ 規範意識と社会性の育成

1 (1) 毎日規則正しい生活をしていますか。

・生徒と教職員の約半数が「いいえ」と回答しているのに対し、保護者の約8割が「はい」と回答しました。

『各家庭においては、前年度や中学時代よりも規則正しい生活を送ることができているのではないかと考えられます。』

2 (1) 校則を守っていますか。

・生徒の約9割、保護者の約7割、教職員の約7割が「はい」と回答しました。

『生徒と保護者・教職員では認識の差があると考えられます。』

3 (1) 本校の生徒会活動（部活動を含む）が活発だと思いますか。

・生徒の約6割、保護者の約6割、教職員の約7割が「はい」と回答しました。

『生徒会活動に活発に取り組む生徒も多いのですが、その状況が十分に伝わっていないのではないかと考えられます。』

3 (2) 生徒会活動に参加しましたか。（部活動・球技大会等）

・生徒の約3割が「いいえ」と回答し、8.3ポイント減少しました。

『新型コロナウイルス感染症による部活動の各種大会中止の影響と考えられます。』

4 (1) 入学してから校外でのボランティア活動に参加しましたか。

・生徒・保護者の約4割、教職員の約6割が「はい」と回答しました。全体としては、3.3ポイント上昇しました。

『今年度は新型コロナウイルスの影響でボランティア活動はできませんでしたが、昨年度は台風19号の被災支援ボランティアを継続的に行うなど、積極的な参加がみられました。』

5 (1) 避難訓練、薬物乱用防止教室、交通安全教室等で、安全に関する意識が上昇したと思いますか。

・全体（生徒・保護者・教職員）の約8割が「はい」と回答しました。

『生徒と教職員は、昨年度よりも「はい」の回答が増えました。一方、保護者は昨年度よりも「いいえ」の回答が増えました。新型コロナウイルス感染症による休校の影響で、一部行事がアンケート実施期間後に延期されたことが影響していると考えられます。』

6 (1) 何か困ったことがあったときに、相談できる先生（担任・保護者・スクールカウンセラー・ソーシャルワーカー・その他の先生）がいますか。

・生徒・保護者の約8割、教職員全員が「はい」と回答しましたが。

『生徒全員にカウンセリングを実施しています。新学期に休校期間があったため、生徒の相談体制ができるまでに時間がかかったことが影響していると考えられます。』

総合所見

生徒と保護者、教職員の認識の差がみられる項目が多くみられました。家庭との情報共有の在り方を改善していく必要があると考えられます。また、新型コロナウイルス感染症による休校や、生徒の活動制限による影響がみられました。ボランティア活動への参加については、若干の改善がみられるもの低い水準であり、本校の課題と考えられます。

Ⅲ 進路希望の実現

1 (1) 卒業後の進路は具体的に決まっていますか。

- ・生徒の約4割が「いいえ」と回答しました。

『新型コロナウイルスの影響により、自分の将来に不安を抱き、具体的な進路について迷っている生徒がいることが考えられます。』

1 (2) 進路行事（進路の日・先輩に話を聞く会・講話等）は、参考になりますか。

- ・生徒の約9割、教職員のほぼ全員が「はい」と回答しました。

『生徒の実態に応じて、進路行事の内容等を精査し、進路意識を高揚させる取り組みがなされていると考えられます。』

1 (3) 進路だよりを読みましたか。

- ・生徒の約6割が「いいえ」と回答しました。

『進路だよりは学期ごとの発行のため、年に3回しか読む機会がないことから、進路だよりに対する意識が薄いと考えられます。また、興味・関心の低さも原因にあると考えられます。』

2 (1) 先輩方が就職している会社を3社以上知っていますか。

- ・生徒の約8割、保護者の約7割が「いいえ」と回答しました。

『生徒と保護者で情報共有がされにくいことが伺えます。生徒の進路意識を高めるために、教職員からも授業等で情報提供する機会が必要であると考えられます。』

2 (2) 先輩方が進学している大学・短大・専門学校を知っていますか。

- ・生徒の約7割、保護者の約6割が「いいえ」と回答しました。

『生徒と保護者で情報共有がされにくいことが伺えます。生徒の進路意識を高めるために、教職員からも授業等で情報提供する機会が必要であると考えられます。』

3 (1) 入学後検定や資格を何か取りましたか。

- ・生徒の約8割、保護者の約6割が「いいえ」と回答しました。

『基礎学力の定着を目標とする生徒が多いため、資格・検定のことまで手が回らないのだと考えられます。しかし、検定や資格を取得させることで学習意欲を喚起し向上心を育て、進路決定に生かせることから積極的に資格・検定の受験を奨励していきます。』

総合所見

小学校から中学校に至るまで、本校の生徒は自分の進路と向き合う機会があまり多くなかったと考えられます。そのため、特に1・2年生においては進路意識がなかなか高まらず、進路目標の実現の質問項目においては全体的に「はい」と答える割合が低くなってしまったと考えられます。次年度以降、先輩方の進学先や就職先をさまざまな場面において情報伝達したり、生徒がよく通る場所に掲示したりするなどの工夫をしていきたいと思えます。

IV 開かれた学校づくり

1 (1) 学校で使用している携帯連絡網に登録していますか。

・生徒の約7割、保護者の約9割が、「はい」と回答しました。全体としては、7.2ポイント上昇しました。

『休校に伴い、登録の確認を行ったことにより、前年度より上昇したと考えられます。生徒の割合が低いのは、携帯電話・スマートフォンを持っていない生徒もいることが影響していると考えられます。』

1 (2) 学校のホームページを見たことがありますか。

・全体の約9割が、「はい」と回答しました。

『前年度と同等程度閲覧されており、スマートフォンを所持していない生徒・保護者以外は、学校ホームページの情報を頼りにしていることが伺えます。今後もより良いホームページ作成に努めていきます。』

1 (3) 学校での出来事を家族に話していますか。

・全体の約8割が、「はい」と回答しました。

『保護者の方々の、学校への関心が高まった結果と考えられます。』

2 (1) 家族に学校行事へ参加してほしいですか。

・生徒の約8割、保護者の約半数が「いいえ」と回答しましたが、全体としては6.7ポイント上昇しました。

『生徒・保護者共に、参加したいと考える割合が前年度よりは増加しています。教職員も参加していただいていると感じている割合が増えています。今後も保護者の皆様に参加していただけるよう、呼びかけていきたいと思います。』

3 (1) 音楽部や生徒会役員が例年内郷の公民館祭りに参加していることを知っていますか。

・生徒の約6割、保護者の約7割が「いいえ」と回答し、教職員の約9割が「はい」と回答しました。全体としては、2.4ポイント上昇しました。

『ポスター等による周知を行ったことで、上級学年及び教職員の認知度は高まりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、残念ながら今年度も公民館祭りは中止となってしまいました。』

3 (2) 学校の情報が地域の方々に積極的に発信されていると思いますか。

・生徒の約6割、保護者の約半数が「いいえ」と回答し、教職員の約9割が「はい」と回答しました。全体としては、6.4ポイント上昇しました。

『ホームページを通しての情報発信が認識されていると考えられますが、地域への発信がまだまだ不十分と捉えられている様子です。今後は、生徒・保護者だけでなく、地域全体を意識した情報発信の在り方を考えていきたいと思います。』

4 (1) 本校は防災上安心・安全だと思いますか。

・全体の約8割が「はい」と回答しました。全体としては、4.9ポイント上昇しました。

『生徒・教職員共に、防災に関する意識が上昇しました。職員による定期的な安全点検の効果もあったと考えられます。』

4 (2) 本校が感染症予防について十分な対策をしていると思いますか。

・生徒の約2割が「いいえ」と回答し、教職員の約9割が「はい」と回答しました。

『生徒間と教職員とでは、感染症予防対策について意識の差があるようです。昼食時など、生徒だけで過ごす時間は、感染リスクが高まる恐れがあり、不安を感じる生徒もいると考えられます。今後もマナーを守る意識を向上させる指導等を継続して行っていきたいと思います。』

総合所見

学校からの情報は、概ね生徒・保護者に伝わっていると考えられますが、今後も親しみやすい情報発信に努めていきたいと思います。保護者の方々にも、より積極的に学校に関わりやすい対応をしていきたいと思います。また、地域とのつながりについては、情報発信の在り方を含めて、本校の課題であると考えられます。

V その他

(1) 定時制高校はあっていると思いますか。(教職員：本校に、昼間主・夜間主の二部制はあっていると思いますか。)

・全体の約9割が「はい」と回答しました。全体としては、1.5ポイント上昇しました。

『概ね本校に馴染むことができていると考えられます。』

(2) 学校経営・運営ビジョンを読みましたか。

・生徒の約8割、保護者の約半数が「いいえ」と回答しました。教職員は100%「はい」と回答しました。

『本校の教職員は、学校経営・運営ビジョンにしたがって教育活動を行っております。そのため、生徒・保護者の皆様にもご確認いただきたい内容です。例年、年度初め及び学校ホームページにて公開しておりますので、是非ご覧いただきたいと思います。』

総合所見

年度初めだけでなく、年度途中(学校評価アンケート実施時)にも、生徒・保護者の皆様には、学校経営・運営ビジョンを再度確認していただくことが必要であると考えられます。